

宇部市公共下水道芝中ポンプ場再構築事業

審査講評

令和7年2月20日

宇部市土木建設部

「宇部市公共下水道芝中ポンプ場再構築事業 事業者選定委員会」（以下、「選定委員会」という。）は、宇部市公共下水道芝中ポンプ場再構築事業（以下、「本事業」という。）に関して、優先交渉権者選定基準（令和6年6月28日公表）に基づき、提案内容等について厳正かつ慎重な審議を行い、優先交渉権者を選定しましたので、選定結果及び審査講評をここに報告いたします。

令和7年2月20日

宇部市公共下水道芝中ポンプ場再構築事業 事業者選定委員会委員長
山口大学 大学院創成科学研究科 大学院担当教授
朝位 孝二

目 次

1. 選定委員会の構成.....	1
2. 選定委員会の審査経緯.....	1
3. 審査の進め方.....	2
4. プロポーザル参加資格審査.....	4
5. 提案審査.....	4
5.1 基礎審査.....	4
5.2 総合審査と総合評価点の算出.....	4
6. 審査講評.....	7
6.1 各審査項目の講評.....	7
6.2 総評.....	9

1. 選定委員会の構成

宇部市（以下、「市」という。）は、優先交渉権者の選定にあたり、客観的な評価を行うために、学識経験等を有する者からなる選定委員会を設置しました。なお、選定委員会の委員は、表 1.1 の5名により構成されています。

表 1.1 選定委員会の委員(敬称略)

区 分	氏 名	所属・役職
委員長	朝位 孝二	山口大学 大学院創成科学研究科 大学院担当教授
副委員長	今村 政裕	一般財団法人 山口県建設技術センター 理事長
委 員	山本 浩一	山口大学 大学院創成科学研究科 大学院担当教授
委 員	段下 剛志	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 准教授
委 員	村上 守	宇部市土木建設部長

2. 選定委員会の審査経緯

開催された選定委員会と各回における審査経緯は、表 2.1 のとおりです。

表 2.1 選定委員会の開催日と審査内容

回	開催日	審査内容
第1回	令和5年 7月 3日	委員会スケジュールの確認
第2回	令和5年 10月 17日	実施方針、要求水準書に関する検討
第3回	令和6年 5月 15日	募集要項等、優先交渉権者選定基準に関する検討
第4回	令和7年 2月 13日	提案内容審査、優先交渉権者選定、審査講評

3. 審査の進め方

審査は、以下の手順で実施しました。

- ①資格審査：第一次審査として応募資格の有無を確認しました。
- ②競争的対話：参加資格があるとされた者に対し、募集要項等についての理解を深め、提案内容が要求水準未達となることを防ぐことを目的に行いました。
- ③提案審査：第二次審査として応募者からの提案内容を審査しました。

提案審査は「基礎審査」と「総合審査」から構成されます。「基礎審査」では、提案価格及び提案内容が要求水準等を満たしているか否かを確認しました。「総合審査」では、提案内容（提案価格含む）を様々な視点から総合的に評価しました。

審査のうち、①資格審査、②競争的対話及び③提案審査のうち基礎審査は市が行い、③提案審査のうち総合審査は、選定委員会が実施しました。

選定委員会は、選定基準に基づいて提案内容の審査を行い、最優秀提案者を優先交渉権者として、次点提案者を次点交渉権者として選定しました。

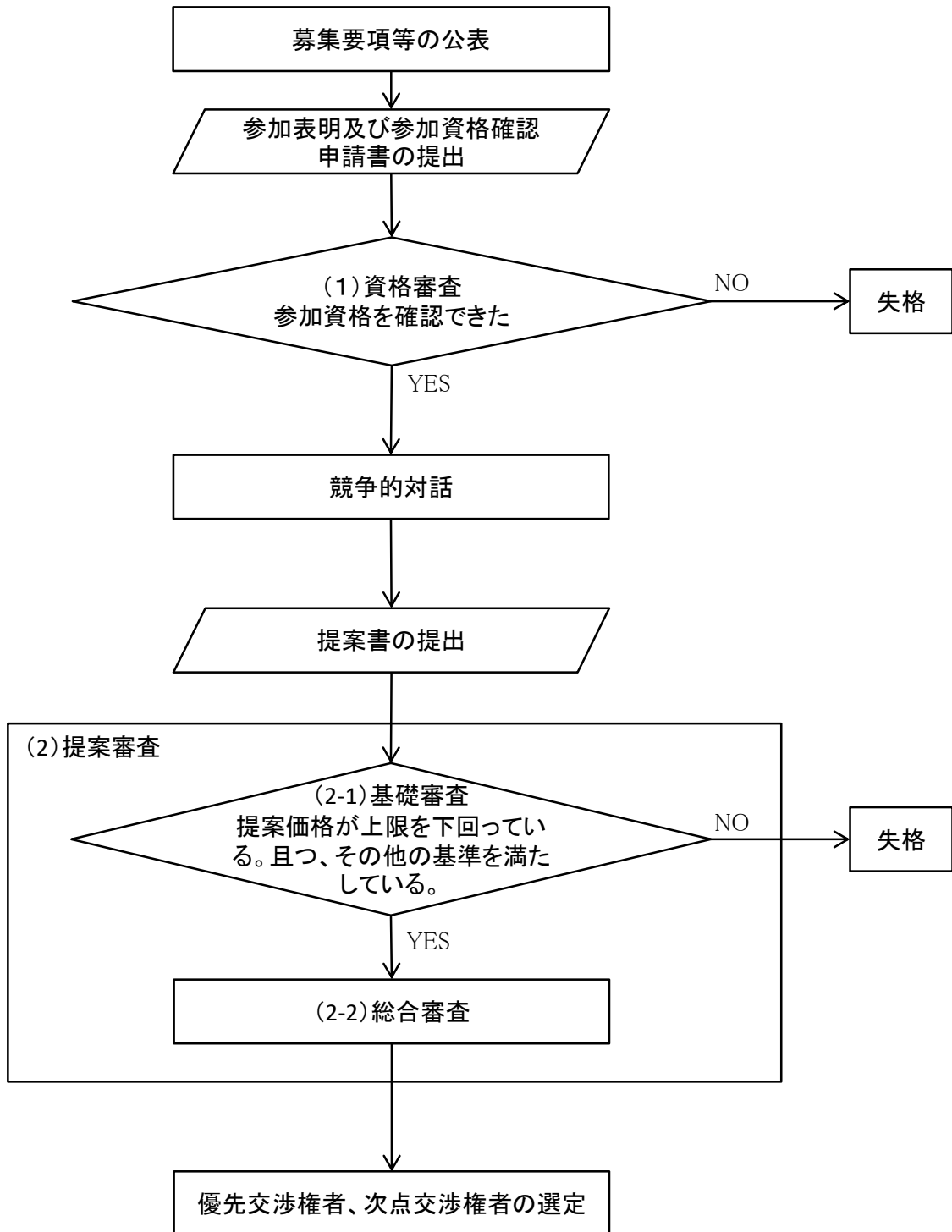


図 3.1 審査の進め方

4. プロポーザル参加資格審査

市は、2グループが提出した参加表明書及び参加資格確認申請書類等を審査し、2グループすべてが募集要項等に定める参加資格要項を満たしていることを確認しました。

5. 提案審査

5.1 基礎審査

市は、基礎審査として提案書類について、2グループからの提案内容が募集要項等に示す条件を満たしていることを確認しました。

また、選定委員会はその報告を受け、確認しました。

5.2 総合審査と総合評価点の算出

選定委員会は、提案書のうち非価格要素の内容について審査し、「総合評価点の算出方法」に基づき得点化（提案内容点）を行いました。

市は、見積価格について、「総合評価点の算出方法」に基づき得点化（価格点）を行いました。

これらの提案内容点と価格点を合算し、総合評価点を算出しました。

5.2.1 総合評価点の算出方法

総合審査では、提案価格と提案内容の二つの面から評価を行いました。提案価格の評価点が30点満点、提案内容の評価点が70点満点の合計100点満点で評価しました。

$$\text{総合評価点数（満点 100 点）} = \text{提案内容評価の得点（70 点）} + \text{提案価格の得点（30 点）}$$

1) 提案内容の評価（配点：70点）

提案内容については、選定委員会が優先交渉権者選定基準に基づき、I 事業実施方針及び実施体制・実績に関する事項、II 設計・建設及び施設能力に関する事項の各項目について、表 5.1 に示す内容評価の採点基準に従い A～D の4段階評価の加点項目審査を行いました。

加点項目審査の結果、応募者の得点は表 5.2 のとおりでした。

表 5.1 内容評価の採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	当該評価項目において、特に優れている	配点×1.0
B	当該評価項目において、優れている	配点×0.6
C	当該評価項目において、要求水準を満足している（標準）	配点×0.2
D	当該評価項目において、要求水準を満足しているが改善の余地がある	配点×0

なお、得点化の際は、小数点第3位以下は四捨五入し、小数点第2位までを求めた。

表 5.2 提案内容の評価点

審査項目	配点	Aグループ	Bグループ
I 事業計画及び実施体制・実績に関する事項	10.00	5.92	5.76
1. 事業実施方針	1.00	0.60	0.60
2. 事業実施体制	1.00	0.60	0.60
3. 応募者の実績	0.50	0.30	0.30
4. 各業務実施体制と業務担当者の実績	3.50	1.62	1.46
5. リスク管理に関する提案	1.00	1.00	1.00
6. モニタリングに関する提案	3.00	1.80	1.80
II 設計・建設及び施設能力に関する事項	60.00	38.60	42.40
1. 調査に関する提案	2.00	1.20	2.00
2. 整備計画に関する提案（撤去工事を含む）	31.50	24.50	19.70
3. 施工・工程計画に関する提案	5.00	3.00	3.80
4. 工事管理に関する提案	1.00	0.60	0.60
5. 地域経済への貢献に関する提案	9.50	1.90	8.90
6. 環境配慮に関する提案	2.50	1.50	1.50
7. 災害及び事故対応に関する提案	1.50	0.90	0.90
8. 維持管理性や将来の設備更新に配慮した施設整備	4.50	2.70	2.70
9. DXの活用	2.00	2.00	2.00
10. その他の提案	0.50	0.30	0.30
小 計	70.00	44.52	48.16

2) 提案価格の評価 (配点 : 30 点)

提案価格の評価点について、以下の方法で得点化した結果、2 グループの得点は表 5.3 のとおりでした。

- 見積参加者中、提案書に記載された提案価格が最低である者を 1 位とし、価格点の満点である 30 点を付与する。
- 他の見積参加者の価格点は、1 位の価格 (最低提案価格) との比率により算出する。
- 「評価価格」は、現在価値でなく実額を用いる。
- 価格の点数化では、小数点以下第 3 位を四捨五入して、第 2 位までの値を使用する。

$$\text{価格点} = \text{価格点の満点} \times \text{最低提案価格} / \text{当該提案価格}$$

表 5.3 提案価格の評価点

審査項目	配点	Aグループ	Bグループ
Ⅲ見積書	30.00	26.91	30.00
見積書 (円:消費税抜き)	30.00	12,149,000,000	10,898,000,000

3) 審査結果

2 グループそれぞれの提案内容の評価点と提案価格の評価点との合計による総合評価点は、表 5.4 のとおりであり、最も得点の高かった B グループの提案を最優秀提案に選定し、2 番目に得点の高かった A グループを次点提案に選定しました。

表 5.4 総合評価点

審査項目	配点	Aグループ	Bグループ
I 事業計画及び実施体制・実績に関する事項	10.00	5.92	5.76
II 設計・建設及び施設能力に関する事項	60.00	38.60	42.40
Ⅲ見積書	30.00	26.91	30.00
合計	100.00	71.43	78.16
順位		2位	1位

6. 審査講評

選定委員会で実施した加点項目審査で、2 グループの提案について要求水準を上回り、加点に値すると評価した主な事項を講評として以下に示します。

6.1 各審査項目の講評

1) I 事業実施方針及び実施体制・実績に関する事項

1. 事業実施方針	・2グループ共に、本事業の基本理念がよく整理されており、実施方針について提案の5テーマに対する内容が簡潔に記載されている点を高く評価した。
2. 事業実施体制	・2グループ共に、実施体制として、全国的な実績のある企業から地元企業まで体系的に組み込まれており、窓口の一元化やセルフモニタリングの提案がなされている点を高く評価した。
3. 応募者の実績	・2グループ共に必要な業務実績を有していることを確認した。
4. 各業務実施体制と業務担当者の実績	・2グループ共に必要な資格・経験を有していることを確認した。
5. リスク管理に関する提案	・2グループ共に、リスクに関し、潜在的なリスクも含めて洗い出し、適切にマネジメントすることを具体的に提案されている点や、保険に関しても設計から建設まで網羅し、記載されている点を特に高く評価した。
6. モニタリングに関する提案	・Aグループは、セルフモニタリング委員会によるモニタリングや品質低下時の対応検討、モニタリング結果の共有、是正委員会による改善プロセス等が提案されている点を高く評価した。 ・Bグループは、設計期間中については、建設企業によるモニタリング支援やプロジェクトレビューの段階実施、改善プロセス等が提案されている点、また建設期間中については、相互照査の実施や技術提案チェックリストによる履行確認と共有、品質低下時の改善プロセス等が提案されている点を高く評価した。

2) II 設計・建設及び施設能力に関する事項

1. 調査に関する提案	<p>・Aグループは、調査計画及び事前調査について、目的や必要な調査等が具体的に計画・立案されている。また、可燃性ガス調査の実施について提案されている点を含め高く評価した。</p> <p>・Bグループは、調査計画及び事前調査について、目的や必要な調査等が具体的に計画・立案されている。また、GNSS測量の実施や事前及び事後における地中レーダー探査の実施について提案されている点を含め特に高く評価した。</p>
2. 整備計画に関する提案（撤去工事を含む）	<p>・Aグループは、整備計画において多くの項目で要求水準より高い提案が多く行われていた。特に雨天時対応のための接続管設置、送水管の立坑一体化による効率化、汚水ポンプ棟における臭気拡散に配慮した配置計画、トラブル対応を考慮した洗砂設備計画等について提案されている点を特に高く評価した。</p> <p>・Bグループは、整備計画において要求水準より高い提案が行われていた。特に試運転計画では、すべての設備について現地での実負荷運転が提案されていた点を特に高く評価した。</p>
3. 施工・工程計画に関する提案	<p>・Aグループは、施工に関して現場代理人が一元的に管理を行うことや工事期間中の維持機能について切替方法、手順等が具体的に述べられている点を高く評価した。</p> <p>・Bグループは、施工に関して現場代理人が一元的に管理を行うことや工事期間中の維持機能について切替方法、手順等が具体的に述べられており、また、各施設の試運転や出水期における実負荷運転の期間を長く確保している点を特に高く評価した。</p>
4. 工事管理に関する提案	<p>・2グループ共に、品質管理、工程管理等について、組織的な対応により実施する提案やその他の工夫が行われている点を高く評価した。</p>
5. 地域経済への貢献に関する提案	<p>・Aグループは、市内企業及び人材活用、市内産製品等の活用について評価した。</p> <p>・Bグループは、市内企業及び人材活用、市内産製品等を最大限に活用しながら事業を推進し、地域経済に大いに貢献する提案について特に高く評価した。</p>
6. 環境配慮に関する提案	<p>・2グループ共に、整備計画における省資源、省エネ、創エネ、温室効果ガス抑制、周辺景観への配慮に関して提案されている。また、施工計画における環境対策として、地点ごとに具体的な環境対策が提案されている点を高く評価した。</p>
7. 災害及び事故対応に関する提案	<p>・2グループ共に、自然災害、第三者災害を想定し、対応方法や防止方法について提案されている。また、工事中の労働災害防止が具体的に記載されている点を高く評価した。</p>
8. 維持管理性や将来の設備更新に配慮した施設整備	<p>・Aグループは、維持管理性に配慮して将来的に粗目スクリーンが設置できるように土木構造を工夫した点や、洗砂設備において維持管理者の衛生面や維持管理性に配慮されている点を高く評価した。</p> <p>・Bグループは、バイパス管を設け異常時に導水機能を確保できる点や、SUS製機器を採用しLCCの低減を行っている点、今回増設する雨水ポンプと既設雨水ポンプの点検歩廊を一体化し維持管理者の負担を軽減している点について、維持管理性に配慮されており高く評価した。</p>
9. DXの活用	<p>・Aグループは、AI配筋システム、ITV監視設備の導入などが提案されている点を特に高く評価した。</p> <p>・Bグループは、全工種でBIM・CIMを活用することが提案されている点を特に高く評価した。</p>
10. その他の提案	<p>・Aグループは、災害に備えた施設整備と工事工程が提案されている点を高く評価した。</p> <p>・Bグループは、供用開始後の維持管理支援、イベントでのPR活動、BIM/CIM講習会の開催等について提案されている点を高く評価した。</p>

6.2 総評

本公募に参加した 2 グループの提案は、いずれも本事業における目的を深く理解し、要求水準書を上回る優れた内容となっていました。

A グループの提案は、整備計画において、特に機能性および維持管理性の具体的な提案が多くなされており、中でも雨天時に対する施設計画、送水管整備の効率化、合流・分流污水ポンプ棟の配置計画や洗砂設備等の機械設備の提案について高く評価しました。

B グループの提案は、整備計画において、機能性および維持管理性の具体的な提案がなされていました。さらには、入念な調査計画や送水管の腐食対策、実負荷による試運転計画について高く評価しました。また、最も建設コストが安価であり、地域経済への貢献に関しても、市内企業および人材、市内産製品等の最大限の活用を行っている点を特に高く評価しました。

提案内容・価格の総合評価の結果、三井住友建設株式会社を代表企業とする B グループの提案を最優秀提案として選定しました。今後、優先交渉権者として市と交渉するにあたり、本事業が市政において極めて重要な位置付けを持つものであることを再度認識し、質の高い公共サービスを継続的かつ安定的に提供し続けるため、誠意を持って協議を行っていただくことを希望します。

以上